

真宗大谷派 慈雲山 瑞蓮寺

慈雲会

〒604-8214

京都市中京区新町通蛸薬師下る

百足屋町375番地

TEL (075)221-4616

zuirenji@hotmail.com

http://www.zuirenji.net/

Shinshū Ōtani-ha

Jiunzan Zuirenji

Jiunkai

慈雲



時韋提希

白佛言世尊

如我今者

以佛力故

見彼國土

時に韋提希（いだいけ）、仏に白（もう）して言（もう）さく、「世尊。我（わ）が如（ごと）きは、今者（いま）仏力（ぶつりき）を以（もつ）ての故に彼（か）の国土を見つ。

【観経】の言葉

韋提希夫人はかつてお釈迦さまの導きによってお浄土を見る事ができました。その事をここであらためて感謝申し上げるのです。「あの時お浄土を見る事ができたのは自分にはその力があつたからではなくて、お釈迦さまの方便のお力のおかげでした」と。
なぜ夫人はこのタイミングで仏さまのご恩を謝したのでしょうか。この言葉の裏には「私は幸いにお釈迦さまと同じ時代に生きて、直接お釈迦さまのご教示に預かることができました。これは何より有り難いことです。しかし、お釈迦さまがお隠れになつた後の人々ほどのようにしてお浄土を見る事ができるのでしょうか」という気持ちがあるか」といふ事を問うために自らの幸せをまづ表明したのです。

蓮如上人の御真影修復完了報告



昨年の十二月より修復に出していた蓮如上人の御真影が今年の報恩講の前に戻ってきました。(慈雲七十号参照)二百年以上経っていましたが、かなり傷みがひどかったのですが、表具屋さんの慎重で丁寧な仕事によって元の重厚さは残したまましっかりとしたお軸に仕上げてくださいました。

おみがきのお願い

今年最後のお磨きの日程です。
十二月二十一日(土) 午前九時
所要時間はおよそ一時間半です。
どうぞ多くのみなさまのご協力をお願いいたします。

慈雲会について

瑞蓮寺のご門徒同士の横のつながりの会を慈雲会と申します。私たち真宗(浄土真宗ともいう)の場合は門徒と言います。現在瑞蓮寺に属している門徒さん同士は役員であるとかよくお寺の行事に参加される方同士は親しくなる機会があります。そうでない場合はお寺とそこでご門徒宅との一本線の繋がりがしんどいことができません。そこで門徒さん同士をつないでいく役割を持った慈雲会が立ち上がったのです。来年で二十年になります。毎年年初めに五千円の年会費を徴収しますが、その会費で彼岸会法要や報恩講のお齋(食事)、会報誌『慈雲』やカレンダーの発送、法要のYouTube配信、さらにお寺の宝物である掛け軸の修理・保全などに充てさせていただきます。 (上段の蓮如上人の御真影のお軸もそうです。) 次年度以降、

さらに魅力のある事業を計画・実行していきますのでどうぞこれからも慈雲会の活動にご協力のほどよろしくお願いいたします。

編集後記

○今年の大きな出来事と言えば私事ではやはり長男の結婚でした。瑞蓮寺の本堂で式を挙げ、披露宴はホテルへ移動して開きました。お寺での挙式というのはあまり馴染みがないかもしれませんが、実は本堂は年忌法要や葬儀式場であるだけでなく正式な結婚式場でもあります。今回はお寺の後継ぎだから本堂で挙式したと思われるかもしれませんが、

それは、一般の方でも最近では仏式結婚式をされる方が増えているようです。厳かな良いものです。また、納骨室に納まっておられるご先祖の前で誓いを立てるというのも意義深いものです。

